



# 平和首長会議ニュース

2020年8月 / 第128号

## 平和首長会議加盟都市数

164 か国・地域 7,921 自治体

**加盟都市数 10,000 都市を  
目指しています！**

日本国内加盟自治体数：1,733

(2020年8月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

🌐 ウェブサイト:

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

📘 フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

🐦 ツイッター:

<https://twitter.com/Mayors4Peace>

「いいね！」をお待ちしています。

### <<今号の内容>>

- ◆被爆 75 年を迎え両被爆地をはじめ世界各地で追悼行事が開催されました
- ◆平和首長会議加盟自治体数: 164 か国・地域 7,921 自治体
- ◆国際平和デー(9月21日)記念行事を開催しましょう！
- ◆平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください
- ◆平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています
- ◆被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- ◆「ヒバクシャ国際署名」への平和首長会議の賛同・協力について

## ■被爆 75 年を迎え両被爆地をはじめ世界各地で追悼行事が開催されました

原爆投下から 75 年を迎えた 8 月 6 日・9 日に、広島市・長崎市では平和記(祈)念式典が厳かに挙行されました。今年の式典は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、世界中から被爆地に多くの人々を招待することができず、例年に比べ規模を大幅に縮小したものとなりました。しかし、自国第一主義が台頭する中、核軍縮の動きを停滞させるわけにはいきません。それぞれの式典において、両市長は、核兵器廃絶とその先にある世界恒久平和の実現に向けた「平和宣言」を行いました。



平和記念式典(広島市) 写真提供: 広島市



平和祈念式典(長崎市) 写真提供: 長崎市

▼広島市長による「平和宣言」の動画(YouTube):

<https://www.youtube.com/watch?v=q4pSUsWQ6R8>



被爆 75 年というこの節目の年に、両市長は様々な形で平和のメッセージを発信する機会を得ました。このビデオ出演もその一つです。

United Religions Initiative をはじめ 4 つの世界的な宗教団体が、核兵器廃絶を訴える共同文書 “THE HIROSHIMA/NAGASAKI ACCORD” を発出し、核軍縮の重要性を訴える声をまとめたビデオを 8 月 6 日と 9 日にライブ配信しました。その冒頭で広島・長崎の両市長が世界恒久平和の実現に向けた連帯を呼び掛けました。



また、被爆者の思いを受け継ぐ、若い世代による発信の場も設けました。平和首長会議では、国内外の加盟都市において、次代を担う青少年が平和への思いを受け継ぎ、主体的に活動していくよう促すために、8 月 4 日に平和教育ウェビナー（オンラインのセミナー）“No more Hiroshima! No more Nagasaki!” 一次代の平和活動を担う若者たち一を開催しました。ウェビナーでは、まず専門家による「現下の核兵器を巡る国際情勢」についての講義

を聴講し、続いて広島・長崎で活動する青少年と、過去に平和首長会議の「青少年『平和と交流』支援事業」に参加した 5 都市の青少年が、それぞれの都市で行っている平和活動や平和への思いについて発表しました。それぞれの発表の後には、10 か国 17 都市から参加した聴講者が質疑応答を通じて発表者と意見交換を行いました。当ウェビナーの様子はインターネットで同時配信され、多くの方々に視聴していただきました。録画した動画は、平和首長会議のウェブサイト上で公開しています。

▼ウェビナーの概要・動画はこちらから（平和首長会議ウェブサイト）：

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/news/200701\\_news.html](http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/news/200701_news.html)

8 月 6 日、広島市の平和記念公園では、「子どもたちの平和のメッセージ展」が開催されました。広島市などの呼び掛けに応じて、広島市内や国内の平和首長会議加盟自治体の小・中・高校生などから寄せられたメッセージを展示したものです。メッセージには、「平和な未来をつくるのは私達」、「75 年間守られてきた平和を今度は私達が守っていきます。」など平和な未来へ向けた思いが綴られていました。コロナ禍の中、例年のように、他県から式典参列のために広島を訪れる子どもたちと、広島の子供たちが一堂に会することはできませんでしたが、心を一つに、広島の子供たちから平和のメッセージを発信することができました。



世界中の加盟自治体においては、被爆 75 年を迎えた 8 月 6 日と 9 日を中心に、慰霊や平和祈念のための行事が実施されました。各地で原爆犠牲者を追悼し、平和を願う行事に取り組んで下さった関係者の皆様に感謝します。これらの行事を含め、加盟都市の活動や、平和首長会議行動計画に基づく取組に関する情報を、以下のリンクからご覧いただけます。

▼加盟都市の活動(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/index.html#activity>

▼平和首長会議行動計画に基づく取組実施都市等一覧(海外)(8月17日現在)(平和首長会議ウェブサイト):

[http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/04\\_list\\_of\\_activities/2020\\_List\\_of\\_Activities\\_jp.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/04_list_of_activities/2020_List_of_Activities_jp.pdf)

<<貴自治体の平和活動の情報をお知らせください>>

平和首長会議事務局では、被爆 75 年の追悼行事を含め、行動計画(2017 年-2020 年)に盛り込まれている平和教育や平和文化等に関する行事の情報を募集しています。上記の取組実施都市等一覧でご紹介しますので、行事のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにご連絡ください。

▼Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

=====  
**■平和首長会議加盟自治体数: 164 か国・地域 7,921 自治体**  
 =====

8 月 1 日付で、12 自治体が加盟し、加盟自治体数は 7,921 となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。新たに加盟した国・地域と内訳は以下のとおりです。

国名	新規加盟都市数	合計	備考
ベルギー	1	375	副会長都市及びリーダー都市のイーペル市の呼び掛けにより加盟。
ドイツ	3	686	副会長都市及びリーダー都市のハノーバー市の呼び掛けにより加盟。
オランダ	6	157	同国内の加盟都市の呼び掛けにより加盟。
ポーランド	1	12	先月に引き続き、1 都市が加盟。
チリ	1	23	同国内における 8 年ぶりの加盟。

▼8 月 1 日付新規加盟自治体一覧(PDF)

[http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/03\\_newmembers/2020/newmembers2008\\_jp.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/03_newmembers/2020/newmembers2008_jp.pdf)

10,000 都市加盟に向けて、引き続き未加盟の近隣自治体や姉妹都市への働き掛けについて、皆様のご協力をよろしくお願いします。

▼加盟の呼び掛けにご活用いただける資料(10 か国語)

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/>

▼加盟都市数一覧(国・地域別)

[http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/01\\_monthly\\_updating/07\\_membership\\_by\\_country\\_jp.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/01_monthly_updating/07_membership_by_country_jp.pdf)

事務局では、加盟拡大の取組を推進するため、未加盟都市への呼びかけに関する好事例を募集し、来月号から掲載を開始します。こうした取組の情報提供をお願いします。

=====  
**■国際平和デー(9月21日)記念行事を開催しましょう!**  
=====

国連では、毎年9月21日を「国際平和デー」と定め、世界中の停戦と非暴力の日としてこの日一日敵対行為をやめるよう呼び掛けています。今年の「国際平和デー」のテーマは「一緒に平和をつくろう(Shaping Peace Together)」です。

本年は6月19日に配信した『平和首長会議ニュース(2020年6月)第126号』により全加盟自治体へ100日前メッセージを送付しています。

つきましては、各加盟自治体におかれましても、こうした趣旨をご理解いただき、2020年の国際平和デー記念行事を開催していただきますようお願い申し上げます。

また、今年も引き続き、岐阜県高山市から加盟自治体に対し、高山市が市内の寺社等の協力を得て実施する一斉鐘打の取組に賛同し、9月21日正午に一斉鐘打を行っていただくよう依頼がありました。

各加盟自治体におかれましても、国際平和デーの記念行事の一環としてこの取組への御協力を御検討いただければ幸いです。なお、高山市の呼び掛けに御協力いただける自治体におかれましては、9月7日(月)までにメール又はFAXで高山市(担当部署:生涯学習課)にお知らせいただきますようお願いいたします。

▼高山市からの依頼文

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/news/data/20200820/Request\\_from\\_Takayama\\_City.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/news/data/20200820/Request_from_Takayama_City.pdf)

▼高山市役所生涯学習課の連絡先(担当:道脇様)

Email: [shougaigakushuu@city.takayama.lg.jp](mailto:shougaigakushuu@city.takayama.lg.jp)

FAX: 0577-35-3414

▼平和首長会議事務局からの依頼文

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/news/data/20200820/Request\\_from\\_MfP.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/news/data/20200820/Request_from_MfP.pdf)

▼国際平和デー(2020年9月21日)100日前メッセージ全文(平和首長会議ウェブサイト)

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/statement/mailmag/pdf/200613\\_IDP100day\\_message\\_J.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/jp/statement/mailmag/pdf/200613_IDP100day_message_J.pdf)

▼International Day of Peace 21 September(英語)(国連ウェブサイト):

<https://www.un.org/en/observances/international-day-peace>

\* 貴自治体で開催する国際平和デー記念行事の内容について、次のメールアドレスまでご一報ください。平和首長会議ウェブサイト等でご紹介いたします。

▼Email: [rentai@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:rentai@pcf.city.hiroshima.jp)

=====  
**■平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください**  
=====

2017年8月に長崎市で開催された第9回平和首長会議総会において、「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)」が策定されました。この行動計画に掲げられた、世界恒久平和の実現に向けた国際世論を醸成・拡大するための取組の推進にご協力ください。

▼「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)」(平和首長会議ウェブサイト):

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/report/meeting/data/9th\\_meeting/Action\\_Plan\\_2017-2020\\_J.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/jp/report/meeting/data/9th_meeting/Action_Plan_2017-2020_J.pdf)



広島・長崎への原爆投下から 75 年を迎えた 8 月 6 日・9 日に、アイルランド、ナイジェリア、ニウエ、セントクリストファー・ネイビスの 4 か国が核兵器禁止条約を批准し、批准国数が 44 か国となりました。条約が発効するためには、あと 6 か国の批准が必要です。核兵器のない世界を実現させるためには、核保有国及びその傘の下にある国を含む全ての国が条約を締結しなければなりません。平和を希求する声を世界に広げ、批准を後押しするためにも、上記の署名活動へのご協力をお願いします。

なお、2019 年 11 月、ハノーバー市において開催された第 11 回平和首長会議理事会において、2020 ビジヨンの最終年である 2020 年に、行動計画に掲げている以下の 3 項目に重点的に取り組んでいくことが決定されています。

- ① 「核兵器禁止条約」の発効等の平和首長会議の目標の達成に向けた加盟都市の拡大  
→具体的な取組については[こちら](#)
- ② 次代を担う若い世代の意識啓発を目指す平和教育の実施  
→具体的な取組については[こちら](#)
- ③ 広島・長崎への受け入れを組み込んだ青少年「平和と交流」支援事業等の充実  
→具体的な取組については[こちら](#)

=====  
**■平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています**  
 =====

平和首長会議事務局では、自治体、学校、NGO 等、様々な実施主体による平和教育の取組事例を「平和首長会議ニュース」やウェブサイトで紹介することにより、そうした活動の広がりを促進していくため、各加盟都市において実施されている平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています。

これまでにお寄せいただいた取組事例をウェブサイトに掲載しています。他都市の事例を参考にして、より多くの都市に平和教育の取組を広げていただければ幸いです。

▼平和を希求する心を育てる取組の好事例の紹介コーナー(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort.html#section10>

また、事例募集は引き続き行っておりますので、随時情報提供をお願いいたします。いただいた取組事例は随時ウェブサイトでご紹介する予定です。

▼書類提出・問い合わせ先:

Email: [rentai@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:rentai@pcf.city.hiroshima.jp)  
 TEL:082-242-8872 FAX: 082-242-7452

=====  
**■被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内**  
=====

平和首長会議では、第 9 回総会において策定された行動計画に沿った取組として、被爆樹木二世の苗木の配付を行っています。小・中学校の平和学習での活用や公共施設の改修にあわせた記念植樹など、平和のシンボルである被爆樹木二世の育成を通じて、市民の平和意識の醸成に取り組んでいただきますよう、ご検討をお願いします。

被爆樹木二世の苗木の配付を希望される場合、所定の申請書を E メール又は FAX にて事務局までお送りください。

※この事業は、通年でやっているため特に申請期限はありません。また、来年度以降も継続して実施しますので、来年度以降の苗木の受け入れについても、是非ご検討いただければ幸いです。

▼Email: [rentai@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:rentai@pcf.city.hiroshima.jp)

▼TEL: 082-242-8872 FAX: 082-242-7452

▼被爆樹木二世の苗木の配付申請書、事業紹介パンフレット印刷用データ等のダウンロード(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort.html#section04>



=====  
**■ヒロシマ発平和関連ニュース (連載第 70 回)**  
=====

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

広島にとって 75 年の節目の 8 月 6 日は、コロナ禍の影響で、これまで経験にない慰霊の日となりました。国際社会に目を向ければ、核軍縮・核拡散ともに大きな問題を抱えています。世界に向けて核兵器廃絶を強く訴えるべき時に、残念としか言いようがありません。平和記念公園や周辺を歩く人は、例年と比べると大幅に少なく、子どもや外国人の姿もまばらでした。

広島市が主催した平和記念式典は、異例の小規模で開催されました。安倍晋三首相や 83 カ国と欧州連合(EU)の海外来賓、被爆者団体の代表たち計 785 人が参列しました。参列者席は例年の 1 割以下に減らして前後左右を 2 メートル空けました。一般席は設けられませんでした。

式典の中で発せられたメッセージからは、核兵器廃絶に向けたそれぞれの考えが読み取れました。

松井市長は平和宣言で、13 歳で被爆した加良健治さん(88)＝西区＝が見た惨状と「自分のこと、自国のことばかり考えるから争いになる」との訴えを引用。昨年 10 月に亡くなった元国連難民高等弁務官の緒方貞子さんの「自分の国だけの平和はありえない」との言葉も紹介し、台頭する自国第一主義をけん制しました。その上で、各国の指導者には核兵器に頼らない安全保障体制の構築を訴え、日本政府には、被爆者の思いを受け止めて核兵器禁止条約を締結するよう求めました。

広島県の湯崎英彦知事は「なぜ広島、長崎の核兵器廃絶に対する思いはこうも長い間裏切られ続けるのか」と強い言葉を使いながら、核抑止論を「虚構」と断じました。

式典出席を断念した国連のグテレス事務総長は「核兵器禁止条約は軍縮体制のさらなる柱であり、その発効を心待ちにしている」とのビデオメッセージを寄せました。

一方で安倍首相は、あいさつで非核三原則の堅持や核兵器のない世界の実現には触れたものの、核兵器禁止条約には言及しませんでした。

式典では、この 1 年間に死亡が確認された 4943 人の名前を書いた原爆死没者名簿が、原爆慰霊碑の石室に納められました。119 冊、計 32 万 4129 人分になりました。それだけ、生存被爆者の高齢化が進んでいる現実があります。「被爆者がまだ存命の間、一刻でも早い時期に核兵器を廃絶することを、全ての国連加盟国が一致し、新たな目標として設定することをここに提案します」。湯崎知事が発した言葉は、被爆地全体の思いです。

関連記事は次のアドレスで読めます。

○はだしのゲン アラビア語に エジプト・カイロ大教授、広島大留学時に始め全巻翻訳

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=99034>

○本通り 被爆からの復興 生き残った店主ら奮闘

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=99039>

○[ヒロシマの空白 街並み再現] 爆心地の島病院 継ぐ思い

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=99177>

○河本一郎さん 遺影登録へ 広島祈念館 原爆の子の像発案 ドーム保存貢献も

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=99310>

○[ヒロシマの空白 被爆75年] 大正屋呉服店の反物確認 平和公園レストハウス前身 広島の医師保管

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=99760>

○被爆遺構展示で基本計画 広島市 往時の街並みも紹介

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=99850>

○75年 非核の願い不変 広島平和宣言「市民や国家が連帯を」 禁止条約の批准迫る

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=100067>

=====  
**■「ヒバクシャ国際署名」への平和首長会議の賛同・協力について**  
=====

平和首長会議では、第9回総会において策定された行動計画に基づき、「幅広い層の市民の平和意識の啓発」を目的として『ヒバクシャ国際署名』と連携した『核兵器禁止条約』の早期締結を求める署名活動を展開しています。

平和首長会議に寄せられた『核兵器禁止条約』の早期締結を求める署名と、「ヒバクシャ国際署名」で集められた署名を共に国連関係者に提出することとしています。

▼ヒバクシャ国際署名ウェブサイト:



\*\*\*本メールニュースに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください\*\*\*

**平和首長会議事務局**

〒730-0811 広島市中区中島町 1-5

(公財)広島平和文化センター 平和首長会議・2020ビジョン推進課

TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

▼Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

【平和首長会議公式SNSアカウント】

〈ツイッター〉 

<https://twitter.com/Mayors4Peace>



〈フェイスブック〉 

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>



フォロー、拡散、「いいね」、コメントをお願いします！